



平成30年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(非連結)

平成30年1月31日

上場会社名 株式会社大阪チタニウムテクノロジーズ
 コード番号 5726 URL <http://www.osaka-ti.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 杉崎 康昭

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経理部長 (氏名) 島本 信英

TEL 06-6413-3310

四半期報告書提出予定日 平成30年2月9日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第3四半期の業績(平成29年4月1日～平成29年12月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第3四半期	30,750	9.8	1,898	264.6	1,775		1,159	
29年3月期第3四半期	28,005	12.8	520		308		274	

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第3四半期	31.51	
29年3月期第3四半期	7.45	

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第3四半期	91,404		35,548			38.9
29年3月期	93,265		34,497			37.0

(参考)自己資本 30年3月期第3四半期 35,548百万円 29年3月期 34,497百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期		0.00		5.00	5.00
30年3月期		0.00			
30年3月期(予想)					

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

平成30年3月期末の配当予想は未定です。

3. 平成30年 3月期の業績予想(平成29年 4月 1日～平成30年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	43,200	10.3	2,700	31.6	2,500	103.8	1,500	158.7	40.76

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は[添付資料]P.6「2.四半期財務諸表及び主な注記(3)四半期財務諸表に関する注記事項(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 有
修正再表示 : 無

(注)詳細は[添付資料]P.6「2.四半期財務諸表及び主な注記(3)四半期財務諸表に関する注記事項(会計上の見積りの変更)」をご覧ください。

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期3Q	36,800,000 株	29年3月期	36,800,000 株
期末自己株式数	30年3月期3Q	1,314 株	29年3月期	1,244 株
期中平均株式数(四半期累計)	30年3月期3Q	36,798,745 株	29年3月期3Q	36,798,756 株

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.2「業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	6
(会計上の見積りの変更)	6
(セグメント情報等)	7
3. その他	7
継続企業の前提に関する重要事象等	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、引き続き緩やかな回復基調で推移し為替レートは前年同期に比べ円安で推移しましたが、原油価格をはじめとした資源価格の上昇も生じており先行き不透明な状況が継続いたしました。

当事業につきましても、チタン事業では、輸出向けについては引き続き航空機の製造が堅調であること、為替レートが円安で推移したことから売上が前年同期より増加いたしました。一方、国内向けにつきましても一般産業用の需要の回復により売上が増加いたしました。この結果、チタン事業の売上高は22,214百万円となり前年同期に比べ22.7%増と第2四半期累計期間（前年同期比18.0%増）よりさらに増加率が拡大いたしました。

ポリシリコン事業では、半導体用ポリシリコンの需給調整が継続している一方、第2四半期累計期間の出荷の一部が第3四半期以降に後ろ倒しとなった影響により販売数量が前年同期より減少し、ポリシリコン事業の売上高は6,822百万円（前年同期比16.5%減）となりました。

高機能材料事業では、半導体需要の増加に伴う高純度チタンの販売増はあったものの、液晶用途のTILOP（タイロップ）の需要の調整により粉末チタンの販売数量が減少したため、高機能材料事業の売上高はほぼ前年同期並みの1,713百万円（前年同期比0.5%減）となりました。

以上の結果、当第3四半期累計期間の売上高は30,750百万円（前年同期比9.8%増）とチタン事業の売上高増加に伴い増収となりました。

一方、利益につきましては、チタン事業での売上高の増加や全社的なコスト合理化、為替レートが円安で推移したこと等により営業利益は1,898百万円となり、前年同期は一昨年10月の岸和田製造所の突発停電によるポリシリコン事業の営業損益の悪化があったこともあり前年同期比264.6%の増益となりました。また経常利益は1,775百万円（前年同期は308百万円の損失）、四半期純利益は1,159百万円（前年同期は274百万円の損失）となりました。

(参考)事業別売上高

(単位：百万円)

		当第3四半期	前年同期	増減率 (%)
チタン事業	国内	9,476	7,782	21.8
	輸出	12,737	10,327	23.3
	計	22,214	18,109	22.7
ポリシリコン事業		6,822	8,173	△16.5
高機能材料事業		1,713	1,721	△0.5
合計		30,750	28,005	9.8

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

①資産

当第3四半期会計期間末の総資産の残高は、91,404百万円と前事業年度末と比べ1,860百万円減少いたしました。これは、現金及び預金が増加したものの、有形固定資産及び投資その他資産が減少したことが主な要因であります。

②負債

当第3四半期会計期間末の負債の残高は、55,855百万円と前事業年度末と比べ2,912百万円減少いたしました。これは、借入金が増加したことが主な要因であります。

③純資産

当第3四半期会計期間末の純資産の残高は、35,548百万円と前事業年度末と比べ1,051百万円増加いたしました。これは、配当金の支払いにより利益剰余金が減少したものの、四半期純利益により利益剰余金が増加したことが主な要因であります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、2017年4月28日発表の通期の業績予想に変更はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (2017年3月31日)	当第3四半期会計期間 (2017年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,182	4,097
受取手形及び売掛金	15,458	15,216
商品及び製品	15,168	14,709
仕掛品	4,219	4,518
原材料及び貯蔵品	5,590	4,999
その他	706	714
貸倒引当金	△3	△3
流動資産合計	43,321	44,252
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	11,650	11,363
機械及び装置（純額）	17,472	15,678
土地	14,823	14,823
建設仮勘定	400	348
その他（純額）	562	600
有形固定資産合計	44,910	42,814
無形固定資産	570	456
投資その他の資産	4,462	3,881
固定資産合計	49,943	47,151
資産合計	93,265	91,404

(単位：百万円)

	前事業年度 (2017年3月31日)	当第3四半期会計期間 (2017年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,231	4,294
短期借入金	18,200	9,500
未払金	1,778	2,242
未払法人税等	64	180
設備関係支払手形	65	121
設備関係未払金	193	419
賞与引当金	367	87
その他	1,011	1,256
流動負債合計	25,911	18,101
固定負債		
長期借入金	29,000	34,000
資産除去債務	1,356	1,377
退職給付引当金	1,825	1,884
その他	674	491
固定負債合計	32,856	37,753
負債合計	58,767	55,855
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,739	8,739
資本剰余金	8,943	8,943
利益剰余金	16,766	17,742
自己株式	△9	△9
株主資本合計	34,439	35,415
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	96	133
繰延ヘッジ損益	△38	—
評価・換算差額等合計	57	133
純資産合計	34,497	35,548
負債純資産合計	93,265	91,404

(2) 四半期損益計算書
(第3四半期累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期累計期間 (自2016年4月1日 至2016年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自2017年4月1日 至2017年12月31日)
売上高	28,005	30,750
売上原価	23,529	25,070
売上総利益	4,476	5,680
販売費及び一般管理費	3,955	3,782
営業利益	520	1,898
営業外収益		
受取利息及び配当金	3	12
為替差益	—	15
不用品売却益	123	75
受取賃貸料	38	36
受取保険金	14	49
補助金収入	42	42
その他	5	4
営業外収益合計	226	236
営業外費用		
支払利息	151	149
為替差損	503	—
休止固定資産減価償却費	0	0
シンジケートローン手数料	67	117
その他	332	91
営業外費用合計	1,055	358
経常利益又は経常損失(△)	△308	1,775
特別損失		
固定資産除却損	81	97
ゴルフ会員権評価損	2	—
特別損失合計	83	97
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	△391	1,678
法人税等	△117	519
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△274	1,159

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用)

年間の税引前当期純利益に対する税効果適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。また、繰延税金資産の回収可能性の判断に関しましては、前事業年度に対し一時差異、経営環境等に著しい変化がある場合においてはその影響を加味しております。

(会計上の見積りの変更)

従業員の平均残存勤務期間が17年を下回ったため、数理計算上の差異及び、過去勤務費用の費用処理期間を17年から15年に変更しております。

また、当該変更が、当第3四半期累計期間の営業利益、経常利益及び税引前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期累計期間(自 2016年4月1日 至 2016年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			合計
	チタン事業	ポリシリコン事業	高機能材料事業	
売上高				
外部顧客への売上高	18,109	8,173	1,721	28,005
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—
計	18,109	8,173	1,721	28,005
セグメント利益又は損失(△)	784	△747	483	520

(注) セグメント利益又は損失の合計額と四半期損益計算書上の営業利益とに差異は生じておりません。

当第3四半期累計期間(自 2017年4月1日 至 2017年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			合計
	チタン事業	ポリシリコン事業	高機能材料事業	
売上高				
外部顧客への売上高	22,214	6,822	1,713	30,750
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—
計	22,214	6,822	1,713	30,750
セグメント利益又は損失(△)	1,901	△467	464	1,898

(注) セグメント利益又は損失の合計額と四半期損益計算書上の営業利益とに差異は生じておりません。

3. その他

継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。